

# 胃がん 塩分取り過ぎ注意

製鉄記念  
室蘭病院  
市民ら予防法学ぶ

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の「第44回市民公開がんセミナー」が27日、

室蘭市知利別町の同病院がん診療センターで開かれ、市民らは胃がんの外科的治療について理解を深めた。

市民ら約50人が耳を傾ける中、仙丸直人副院長(外科・消化器外科)が「胃がん治療ガイドライン」に沿ったステージ別治療法などを解説。がんの進行状況などで、内視鏡手術が適応に

ならない症例の手術「幽門側胃切除」や「胃全摘術」の現状を説明した。

このうち、へそを含めた腹部の数カ所に、2〜10ミリほどの穴を開ける内視鏡手術について、同病院では3D内視鏡システムを用いているため「空間把握が容易。細部まで詳細に観察できたり、細かい作業もやりやすくなる」などの利点を強調した。

また、「ピロリ菌感染についての確認と除菌治療」「禁煙」「高塩分食品の取り過ぎに注意し、野菜・果物が不足

胃がんの外科的治療などについて解説する仙丸副院長



しないような食生活を」などと胃がんの予防につながる日常生活をアドバイス。市民らは真剣に耳を傾けていた。  
(松岡秀直)